

検討会の様子

池袋本町二丁目の公園用地を対象にした「公園づくりアイデア検討会」が行われています。

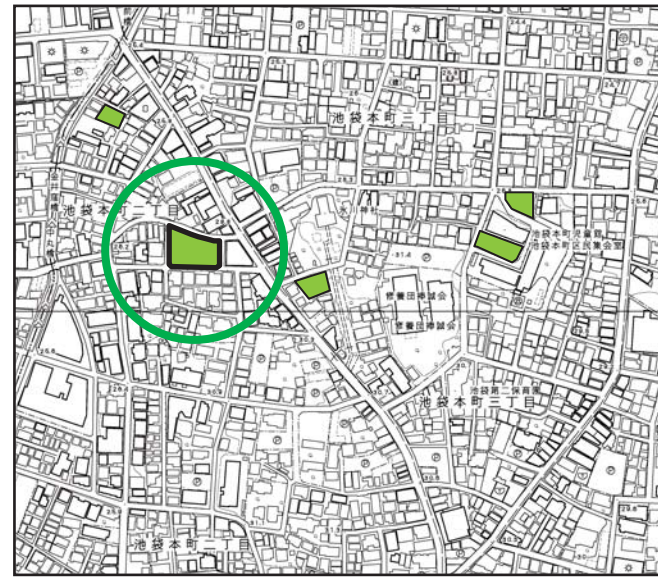
11月5日に行われた第1回検討会では、敷地の中に入って、中央にある段差の大きさを体感したり、周辺の様子を確認しました。その結果をもとにどのような課題があるか、どのような整備の方針が考えられるかをグループに分かれて話し合いました。

12月3日に行われた第2回検討会では、前回課題としてあげられた「みどりと広場の使い方」、「斜面・子どもの遊び」、「入口と園路・近隣との関係」について、3つのテーブルを設けて話し合いました。

2月4日に行われた第3回検討会では、それまで出された意見のとりまとめを行いました。

いろいろなアイデア

この公園の大きな特徴は中央部に段差があることです。これをどう活かすかについて3回の検討会では、座って休むことができる大階段、斜面を



利用したすべり台（昨年、南池袋公園に作られたような大きなすべり台）、草すべりができる斜面などで遊べるようにする、などのアイデアが出されました。

敷地の中央部は斜面のあるはらっぱとして、子どもたちが駆け回れるようにしたいという意見が多数を占めています。

敷地の外周部は、車の通行の多い道路に面したところでは公園内に歩道状の空地を設けて歩行者が歩きやすくします。それ以外の部分では近隣への配慮を行いながら整備する方針です。

公園のイメージとしては、見通しがよく誰でもが使いやすい公園にしたいと思います。また木造密集地域にできる公園ですから、災害時に活用できるように配置や入口を工夫すると共に、井戸やかまどベンチ、マンホールトイレなどの防災設備の設置も検討しています。

トイレは子どもたちのためにはあったほうがよいという意見がある一方、近隣としてはない方が安心できるという意見が出されました。この近くには氷川神社の前の児童遊園にトイレがあります。豊島区ではトイレの数は増やさないで、維持



管理を向上させて快適なトイレにしていこうという方針があります。話し合いの結果、この公園にはトイレを設置しないことにしました。

これからの予定

検討会はこれまで3回行われました。たくさんアイデアをいただき、一定の方針もまとまりつつあります。

より多くの皆様のご意見を伺いながら、引き続き検討を行ってまいります。会の開催予定はホームページ (<http://池袋本町.net/>) に掲載されますのでご覧いただき、これまで参加できなかった方も是非ご参加ください。

検討会でまとめられた意見は、地元の皆さまにご説明したあと、区へ提案されます。豊島区では平成29年度に公園の基本設計を行い、平成30年度の実施設計を経て、平成31年度に工事を行う予定です。



平成28年糸魚川市駅北大火から学ぶ

12月22日10時20分頃、新潟県糸魚川市の駅近のラーメン店から出火、強い南風に乗って日本海まで拡がり、面積4ha、建物144棟(全焼120棟)、120世帯224人の方が被災されました。酒田大火から40年、まさかの大火となりました。

火元は調理場のコンロで、初期に消せなかったため隣家に燃えうつり、また何力所にも街区を越えて飛び火し消火を妨げました。幸いなことに早めに避難勧告がでて死者はありませんでした。

古くからの雪国の雁木造が有名で、狭い間口に軒が接し隣家とは隙間がなく消火がしにくかったようです。耐火造があっても周囲は木造が多く、炎がうつってビル内部が焼けました。建築密度は低いのですが不燃領域率は数年前の調査で30%台、燃えやすい市街地でした。

準耐火造住宅が2軒あり、海側の1軒はほぼ焼け残りました。これは燃えにくい構造で、かつ周辺の空き地や樹木が役だったことが図から読み取れます。所々の駐車場も風横への火災拡大を防いでいます。

大都市の密集地でも、状況によっては大火になる危険性が潜在していることを教えてくれた火災です。もう一度、身の回りの火災や震災への備えを見直しましょう。(吉川)

海から焼け跡を見る

糸魚川市駅北大火の延焼状況

凡例

- 出火点
- 飛び火の着火点
- 延焼方向
- 推定の延焼方向
- 焼失範囲(糸魚川市HP)
- 焼失範囲(廣井調査)
- 建物構造等(現地での推定)
- 耐火造(蔵を含む)
- 準耐火造
- 樹木等(航空写真から)
- 屋外駐車場(同)
- 消防による放水(映像から)

酒蔵の被害 (東京大学廣井先生提供)

焼け跡近くの街並み